

GARRETT REISMAN

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- NASA Astronaut (1998-2011) and Executive at SpaceX (2011-2018)



彼の最初の任務は、2008年にスペースシャトルエンデバー号に乗船し、その後国際宇宙ステーションに95日間の任務に就任し、その後、彼は地球に帰還しました。スペースシャトルディスカバリー。彼の第二の任務は、2010年に、スペースシャトルアトランティスに乗っていた、そして博士Reismanを宇宙ステーションに戻した。これらの任務中に、博士Reismanは3つのスペースウォークを行い、宇宙ステーションのロボットアームを操作し、そしてスペースシャトルに乗ってフライトエンジニアをしていました。2011年にNASAを去った後、Reisman博士は、SpaceXに入社し、そこでElon Muskで働き、SpaceXのSpace OperationsのディレクターとしてSpaceXを宇宙飛行のために準備しました。現在彼はUSCの宇宙工学の教授でありSpaceXの上級顧問です。

Topics

- Business
- Future
- Management
- Technology

2003年6月Reismanは、Aquariusの水中実験室でのNEEMO 5の任務の間、14日間水中で生活し、働いていた水泳員として奉仕しました。

Reisman博士は 'Colbert Report' テレビ番組でStephen Colbertのインタビューを複数回受けました。Reismanは、国際宇宙ステーションで最初のユダヤ人乗組員でもありました。彼は2008年5月にイスラエルの第60回独立記念日の祭典の間に宇宙からイスラエルの人々に挨拶を送りました。人間が軌道空間の微小重力の中で「泳ぐ」ことはできないということを、広くかつ当時は空いていたKiboモジュールの中で実証するのと同様に。

2011年3月4日SpaceXはGarrett Reismanが上級エンジニアとして入社することを発表しました。その後、彼はSpaceXの宇宙オペレーションディレクターに昇進しました。2018年5月31日Reismanは、SpaceXでディレクターを務めますが、現在は宇宙飛行に関するエンジニアリングコースを教えている南カリフォルニア大学の教授になっている間は上級顧問を務めます。